

は じ め に

私たちのまち大船渡は、美しく雄大な自然と寒暖の差が比較的少ない海洋性の気候を生かしながら、環境と産業が調和した豊かな住みよいまちへと発展してきました。

しかし、平成23年3月11日に発生した東日本大震災と、それに伴う巨大津波によって、多くの尊い命や財産が失われる未曾有の被害を受けたところであり、本市を取り巻く環境は一変しました。

震災以降、本市では、国内外からの温かいご支援のもと、市民の皆様の深いご理解と力強いご協力をいただきながら、復旧・復興にまい進しております。環境面においても、関連施設の復旧などに全力を尽くして参りました。

こうしたことから本市の環境は、震災後も概ね良好に保たれていますが、ごみ処理や生活排水等による水質汚濁などの震災前からの問題に加え、湾口防波堤の復旧や復興の進展による大船渡湾の水質への影響、東京電力福島第一原子力発電所事故による放射能の影響など、市民の環境への関心は、以前にも増して高まっています。

これからのまちづくりにあたりましては、震災からの復興とともに、よりよい環境を未来につなぐため、資源のリサイクルやエネルギーの効率化、節約などの積極的かつ実効ある行動を実践して、環境への負担の少ない「低炭素社会」「循環型社会」の実現に向けて取り組んでいく必要があります。

本市では、環境基本条例及び環境基本計画に基づき、長期的・総合的な観点から、市民、事業者と一体となって、環境の保全と創造のための各種施策や事業を進めていくこととしています。今後とも、環境に係る情報を提供するとともに、皆様方のご意見・ご提言をいただきながら、本市の状況に即した環境づくりを進めて参りますので、関係各位の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

本書は、平成26・27年度における本市の環境の状況や施策などを取りまとめたものであり、環境との関わりをご理解いただくための一助となれば幸いです。

平成29年3月

大船渡市長 戸 田 公 明

目 次

はじめに

第 1 部 総 説

第 1 章 大船渡市の概要

| | | |
|-----|-----------|---|
| 第 1 | 地形 | 1 |
| 第 2 | 位置・面積 | 1 |
| 第 3 | 気候 | 1 |
| 第 4 | 人口と世帯数の推移 | 2 |
| 第 5 | 産業の動向 | 2 |
| 第 6 | 土地の利用状況 | 3 |
| 第 7 | その他の統計 | 5 |
| 1 | ごみ収集状況 | 5 |
| 2 | し尿処理状況 | 5 |
| 3 | 自動車保有状況 | 6 |
| 4 | 浄化槽設置状況 | 6 |
| 5 | 都市公園 | 7 |

第 2 章 大船渡市における環境公害防止体制

| | | |
|-----|---------------|----|
| 第 1 | 環境公害行政の経緯 | 8 |
| 第 2 | 環境公害行政組織と処理分担 | 21 |
| 1 | 組織 | 21 |
| 2 | 処理分担 | 22 |
| 第 3 | 大船渡市環境審議会 | 23 |

第 3 章 第 2 次大船渡市環境基本計画（概要抜粋）

| | | |
|-----|-----------------|----|
| 第 1 | 計画の基本的な考え方 | 24 |
| 1 | 計画策定の背景 | 24 |
| 2 | 基本理念 | 24 |
| 3 | 計画の性格 | 24 |
| 4 | 望ましい環境像 | 24 |
| 5 | 基本目標 | 25 |
| 第 2 | 計画の構成 | 26 |
| 第 3 | 施策の方針 | 28 |
| 第 4 | 行動指針 | 31 |
| 第 5 | 環境基本計画の分野別の達成状況 | 32 |

第2部 環境の現状と対策

第1章 大気汚染

| | | |
|----|------------------------|----|
| 第1 | 概況 | 34 |
| 第2 | 大気汚染の監視 | 34 |
| 1 | 二酸化窒素 | 34 |
| 2 | 降下ばいじん | 35 |
| 3 | 酸性雪（酸性雨） | 36 |
| 第3 | 工場・事業場等対策及び規制 | 38 |
| 1 | 法及び条例に基づく届出状況 | 38 |
| 2 | ばい煙施設等への立入調査状況 | 39 |
| 3 | ダイオキシン類対策特別措置法に基づく届出状況 | 39 |
| 4 | 野外焼却行為に関する指導 | 39 |

第2章 水質汚濁

| | | |
|----|------------------|----|
| 第1 | 概況 | 41 |
| 第2 | 公共用水域等の監視 | 41 |
| 1 | 河川等の水質 | 41 |
| 2 | 海域の水質 | 46 |
| 3 | 地下水の水質 | 55 |
| 第3 | 水生生物による河川水質調査 | 56 |
| 第4 | 工場・事業場に対する規制、指導等 | 57 |
| 1 | 法及び条例に基づく届出状況 | 57 |
| 2 | 特定工場、事業場等への立入調査 | 58 |
| 第5 | 公共用水域での流出油事故発生状況 | 59 |

第3章 騒音・振動・悪臭

| | | |
|----|------------------|----|
| 第1 | 騒音・振動 | 60 |
| 1 | 概況 | 60 |
| 2 | 一般環境騒音に係る調査測定 | 60 |
| 3 | 自動車騒音常時監視 | 63 |
| 4 | 工場・事業場に対する規制、指導等 | 64 |
| 5 | 特定建設作業 | 65 |
| 第2 | 悪臭 | 65 |

第4章 公害苦情処理

| | | |
|----|-----------|----|
| 第1 | 概況 | 66 |
| 第2 | 公害苦情の発生状況 | 66 |
| 第3 | 公害苦情の解決状況 | 67 |

第5章 東日本大震災

| | | |
|----|-----------|----|
| 第1 | 災害廃棄物処理関係 | 68 |
|----|-----------|----|

| | | |
|----------------|---------------|----|
| 1 | 災害廃棄物 | 68 |
| 2 | 防疫作業 | 68 |
| 3 | し尿処理 | 71 |
| 第2 | 放射線量 | 71 |
| 第6章 その他 | | |
| 第1 | 一般廃棄物試験分別収集事業 | 75 |
| 1 | 事業の目的 | 75 |
| 2 | モデル地区 | 75 |
| 第2 | エコライフ推進事業 | 76 |
| 1 | 事業の目的 | 76 |
| 2 | 実践地域 | 76 |
| 3 | 実践活動実施項目 | 77 |
| | | |
| 巻末資料 | | |
| 1 | 環境基準等一覧 | 78 |
| 2 | 用語解説 | 96 |

平成 28 年版

大船渡市の環境

—— 自然環境を守り・生かすまちづくり ——

第 27 号

大 船 渡 市

「自然と調和し よりよい環境を
未来につなぐまち 大船渡」
をめざして



美しい山々と豊かな海に囲まれたまち、
大船渡市。この市章は、大船渡市の「大」
の字を波と山でデザイン化しました。海
から、そして陸からも大きく発展するよ
うにという願いをこめて表したものです。



この用紙は環境にやさしい古紙パルプ配合率 70%以上の
再生紙と大豆油インキを使用しています。

